水理公式集［2018年版］

正　誤　表

（第1刷対応）

2019.04.15

頁	行、図・表番号	誤	正
635	下から11行目	γ_s：海面の摩擦係数（=0.0026）	γ_s^2：海面の摩擦係数（=0.0026）

2019.06.24

頁	行、図・表番号	誤	正
169	表1-10.2	物理量 / 次元 / 模型値／実物値 質量 / M / $1/n^{0.5}$ 流速：U / L/T / $1/n^3$	物理量 / 次元 / 模型値／実物値 質量 / M / $1/n^3$ 流速：U / L/T / $1/n^{0.5}$

2019.08.28

頁	行、図・表番号	誤	正
目次（8）	－	第３章　送排水と下水の集水	第３章　送配水と下水の集水
505	上から1行目	第３章　送排水と下水の集水	第３章　送配水と下水の集水

2019.10.11

405	下から8行目 ～1行目まで	（c）主流が常流の場合の簡易実験式 ……での推定ができるとしている．	削除 「削除する理由：式（3-2.18.a）の実験式 からは適当な横越流量を求めることができず， 原著論文の記載に誤りがあると判断されるため， 式（3-2.18）と合わせて削除する．」

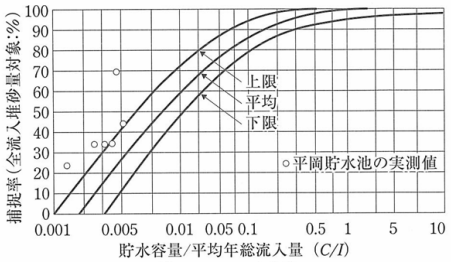
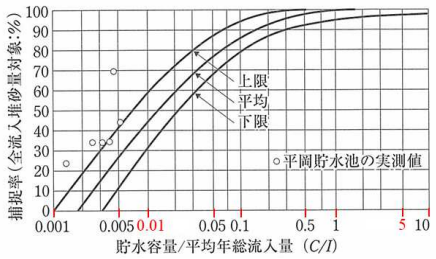
2020.9.18

507	上から13行目	ここに，h_o：タンク等から管路への流入による 損失水頭（m），	ここに，h_o：タンク等から管路への流出による 損失水頭（m），

2025.8.7

443	式(3-4.40.e)	$G^2=F_1^2(1-K\tan\theta)$	$G^2=F_1^2/(1-K\tan\theta)$

2026.6.5

456	図3-6.1	 図3-6.1　Brune曲線[10]	 図3-6.1　Bruneの曲線[10] 貯水容量/平均年総流入量（C/I）の目盛りの 0.01と5の位置の修正

2026.7.30

510	9行目	$q_\beta=Q_\beta/Q_\gamma$	$q_\beta=Q_\beta/Q_\gamma$（ただし，Q_β値は負値で与える．合流の場合は図4.3.7で流れ方向が逆であるため）．